

【第3会場】

※**W**：WEB配信あり **D**：オンデマンド配信予定（※都合により配信しない場合がございます）

9：00～10：00 **W**

これから学ぼう植込み心臓デバイス！
～あなたの「できる・わかる」を広げる～

座長：筒井健太 帝京大学医学部内科学講座
前川正樹 おもと会大浜第一病院診療技術部臨床工学科

あなたのできる・わかるを広げる ～無限生活指導編～

鈴木まどか

順天堂大学大学院医学研究科循環器内科

心電図クイズ ～電気で守る心と”できる・わかる”の拡張計画～

小野 仁

千葉大学医学部附属病院

〈要旨〉

心臓電気デバイス（CIED）の世界へようこそ！このセッションでは、初学者向けに基礎から応用まで、CIED患者の管理に必要な知識とスキルを深めていきます。

プロフェッショナルのデバイスナースと臨床工学技士が、実践的な視点からそれぞれの専門知識を提供します。

このセッションでは、問題→解説のスタイルで参加者とのアクティブな対話を促進し、理論と実践を融合させた学びの場を提供します。

CIED管理のエキスパートたちと共に、あなたの「できる・わかる」を広げましょう！

10：05～11：05  

心電図マイスター道場 ベーシック

座長：藤生克仁 東京大学医学部附属病院循環器内科

60分で心電図がよめる ～頻脈性不整脈編～

新井 陸

日本大学医学部附属板橋病院

〈要旨〉

本セッションでは、心電図検定3級～2級レベルの取得を目指す初学者から中級者を対象に、心電図読影の基本を体系的に学ぶことができます。

座長は、東京大学の藤生克仁先生、講師は日本大学の新井陸先生です。

心電図の基礎知識、正常波形の理解、代表的な異常所見の見つけ方と解釈のポイントなど、臨床現場で活用できる実践的な読影のコツを、豊富な症例を用いてわかりやすく解説いただきます。心電図が苦手な方にもわかりやすく、“検定合格”と“診療への応用”を両立できる実践的な入門セッションですので、心電図判読の基礎力向上を目指して是非参加してください。

11：10～11：50  

デバイス認定士予備校

座長：河野律子 産業医科大学医学部不整脈先端治療学

デバイス認定士 合格のヒント、伝授します！

森田純次

札幌ハートセンター札幌心臓血管クリニック循環器内科

〈要旨〉

PVARPもPMTも、もう怖くない！デバイス認定士を目指す皆さんへ。

試験に出る実践ポイントを、デバイス認定士が症例とともにわかりやすく解説。合格へのヒントがここに！

13：10～14：10  

プログラマセッション ベーシック：急性期・外来 気を付けていること

座長：石川利之 横浜市立大学附属病院循環器内科

永田吾一

東海大学医学部附属病院

笹岡俊介

済生会横浜市東部病院臨床工学部／東京工科大学医療保健学部

〈要旨〉

本セッションでは、CIEDに関わり始めたメディカルプロフェSSIONALが“独り立ち”するために必要な視点を中心に、術後急性期から外来フォローまでのデバイスチェックの実践力を養います。操作の基本手順はもちろん、チェック時に見逃してはならない異常所見や現場での落とし穴、医師へ報告すべき臨床的判断ポイントを具体的に紹介。明日から使える知識と技術を厳選し、看護師を含む他の職種にも理解と連携を促す内容です。

14：20～15：20  

心電図マイスター道場 アドバンス

座長：林 達哉 自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科

今アツイ！ペースメーカ心電図

中路さやか

大和市立病院

臨床のかけらを集めて挑む，心電図ポーネグリフ

真野孝二

社会福祉法人三井記念病院

デバイス心電図試験対策

成田昌隆

埼玉医科大学国際医療センター心臓内科

心電図から冠動脈病変を予測する

新井 陸

日本大学医学部附属板橋病院

〈要旨〉

心電図マイスター道場アドバンスでは，自治医科大学附属さいたま医療センターの林達哉先生を座長，各分野の心電図検定マイスター・一級取得者をプレゼンターに迎え，難判読心電図を題材に実践的な読解法と鑑別のポイントを議論・解説を行います．さらに上級の心電図判読力向上を目指す実践的なセッションです．

15：30～17：00 

プログラマセッション アドバンス

座長：林 英守 順天堂大学循環器内科

村澤孝秀 東京医科大学八王子医療センター臨床工学部

ディスカッサー：中嶋 勉 群馬県立心臓血管センター技術部臨床工学課

岩崎良太 東邦大学医療センター大橋病院臨床工学部

大木康則 埼玉医科大学総合医療センター臨床工学部

〈要旨〉

近年ハートレートスコアが注目されていますが，このプログラマセッションではレートレスポンスRR機能に焦点を当てます．メーカー5社の担当者が自社のRR機能の特徴を解説した後，この分野に詳しいディスカッサーが各社の特徴や臨床での課題について質問・討論を行い，実践的理解を深めます．